

研究課題番号	5RF-2101
研究課題名	温暖化・貧酸素化の適応策に資する二枚貝殻を用いた沿岸環境モニタリングと底生生物への影響評価
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	筑波大学
研究代表者名	西田 梢

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

網羅的に研究を進められており、沿岸域の数種の貝類の貝殻を活用した多様なモニタリング手法の提案という目的は十分に達成し、目標を上回る成果を得ている。殻の同位体履歴から殻の成長量推定、環境ストレスと関連する微細構造の変異、貧酸素指標としての Mo/Ca の可能性など今後、沿岸域のモニタリングに有用な知見が得られている。現地採取された死貝の死の環境要因を推察できる手法としてまとめられること、またそれに適した貝種を提案されること、蓄積されている多くの分析データの多変量解析など解析方法を工夫した解析により有用な成果が得ること、サンプリング数、地点数をさらに増やすことなどのコメントが寄せられており、これらを参考にさらに研究が進展することを期待する。